

感染症情報 1月22日～28日

府下小児科198療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1064例(堺市	57例)
②溶連菌感染症	373例(堺市	25例)
③RSウイルス感染症	125例(堺市	9例)
④突発性発疹	65例(堺市	2例)
⑤咽頭結膜熱	43例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 12915例(堺市 1146例)

が報告された。

感染症報告数は前週比6.9%減の1,774件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、突発性発疹、咽頭結膜熱の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より6%減、堺市では前週と同数であった。溶連菌感染症は府下で前週より10%減、堺市で前週23例→今回25例であった。RSウイルス感染症は府下で前週比3%減、堺市で前週10例→今回9例であった。咽頭結膜熱は府下で前週比8%増、堺市では前週1例→今回2例であった。

インフルエンザは府下で前週13428例→今回12915例で4%減、堺市では前週1084例→今回1146例で6%増となった。定点当たりでは前週が44.2で、今回は42.5であった。大阪府全ブロックで警報レベル開始基準値の30.0を超えている。

麻疹や風疹の報告はなかった。